

今日の富士山

つかはら にはち

この処、お美しいお姿を拝することが難しくなっている。梅雨という時節ではあるが、たまの晴れ間さえ富士山にはぼんやりと霞が掛かっている。

真夏の天気かと思わんばかりの晴れ間でさえ、霞が晴れることはない。そればかりか変に肌寒い日があつたりする。異常気候だと片付けてしまえば簡単なかもしれない。が、小生の生活には計り知れない影響がある。

畑に植えた夏野菜の苗の機嫌が悪い。おくらに至っては三度もヘソを曲げられ、苗を買い直す始末であった。冬瓜やスイカの苗は風前の灯火状態。メロンは既に諦めている。キュウリも今一つ伸びていかない。いつもなら既に一本や二本は口にすることができていた。

知り合いの農家のおじいさんの教えに従い、先週の日曜日、肩ほどに伸びた四本のトマトの苗にビニ

ールの覆いを設けた。

トマトは、夏の畑作業には欠かせない。もぎたてのトマトを丸かじり。冷えてなぞいなくても喉を潤し、疲れた体を癒す即効薬となる。今年もトマトのパワーに頼りたいとの思いを原動力に、支柱となる竹の切り出しからの作業。誰かが手伝ってくれるわけでもない。孤独な戦いだつた。

今日は傘をさしての畑の様子見。今年も赤シソウだけは元気に育っている。種を蒔いたわけでもないのに毎年、律儀なものである。しかるに今年の梅干し造りはやめることにした。春先の不天候で小田原の梅は悲惨な状況だ。結果として値段が高い。全国的な傾向とのこと。一年位やめても十分なほどの量はある。去年漬けたカメの順番が来るのは来年の春だ。